

Betrüger

Ein Betrüger kommt in ein Dorf, um den Leuten für Geld die Zukunft zu sagen. Ein Bauer hört davon und geht zu dem Mann. Der Fremde erzählt ihm viele schöne Dinge. Schließlich nimmt der Bauer seinen Hut und will weggehen. "Halt, guter Freund", rief der Wahrsager: "Wie ist es mit der Bezahlung?" "Bezahlung?" fragt der Bauer und ist erstaunt. "Du kennst die Vergangenheit, Gegenwart und Zukunft, dann mußt du auch wissen, daß ich gar kein Geld bei mir habe. Erst wenn deine Wahrsagung eintrifft, bekommst du deine Lohn."

詐欺師

一人の男が田舎の村へやって来て、将来、お金持ちになれるかどうか占って進めましょうと人々に触れ回りました。あるお百姓さんはこれを耳にすると、早速その男の所へ出かけました。このよそ者は実に口が達者で、未来はバラ色、お金持ちになる事は間違いない、外にも色々良い運勢が出ているなどと、ある事ない事それを聞けば誰でも有頂天になるほどの事を語りました。お百姓さんは帽子を取り、感謝しながらその場を立ち去ろうとしました。

「ちょっと待って下さい、お父っさん！」と予言者を気取る男は言いました。「お勘定がまだ済んでおりませんがねえ！」「勘定ですって？」とお百姓さんは驚いた様子で尋ねました。「あんたは過去も現在も未来もお見通しだ。だとすれば、私が今手許に一銭もない事だっておわかりでしょう。あんたの予言が的中したら、その時にはたんまり謝礼を差し上げるつもりですがねえ・・・」